

逗子市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに関する パブリックコメントの実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

- 1. 意見募集の期間 2026 年（令和 8 年） 1 月 28 日（水）から 2026 年（令和 8 年） 2 月 27 日（金）まで
- 2. 意見の数 2 件
- 3. 意見提出人数 1 人（郵送 0 人、FAX 0 人、メール 1 人、持参 0 人 / 個人 1 人、団体 0 件）

4. 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、素案を修正するもの	1 件
□	意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	0 件
■	意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの	1 件
▲	ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	0 件
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	0 件
合計		2 件

5. 意見の内容と市の対応

整理 番号	関連する項目	意見内容	対応 区分	採否の理由
1	第3章ごみ処理基本計画 第3節基本方針及び基本 施策 3 基本施策 (1)持続可能な循環型社会 形成への取組の推進 カ紙おむつの資源化	紙おむつの資源化については、様々な薬品、高 価な機材及び動力燃料を使用することになり、 コスト高になるばかりか環境への負荷がかえ って高くなってしまわないでしょうか。 また、最終的に資源化できない残留物は、下水 道施設で処理をして廃棄物になるので、この数 量を計上すべきではないでしょうか。	■	紙おむつの資源化については、鎌倉市・逗子市・葉山町 ごみ処理広域化実施計画に基づき、2市1町で先進自治 体や民間施設の取り組みを参考に、紙おむつ資源化の可 能性を検討しています。引き続き、使用済紙おむつ再生 利用技術の進展を注視して情報収集に努め、検討を進め てまいります。
2	第5章食品ロス削減推進 計画 第3節各主体の役割 1 市民の役割	日本人の食事のマナーとして最初に「いただき ます」、最後に「ごちそうさま」を言うことで、 自然界の恵みに感謝をしながら食べることを 追加すべきではないでしょうか。「いただきま す」は、動物を殺生するということだけでなく 植物にも命があり、それらをいただく感謝の気 持ちを表す言葉であり、「ごちそうさま」は、食 事を用意してくれた人やその準備に奔走した 人々への感謝の気持ちを表す言葉なのだから、 食品ロスの問題は先人たちが行ってきた日本 の伝統を実践すれば解決するのではないでし ょうか。	○	いただいたご意見を踏まえ、同章第2節基本的な考え方 と計画目標1 基本的な考え方に次の内容を追加します。 「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針(2020年 (令和2年)3月31日閣議決定)」では、「我が国に は、『もったいない』という意識を始め、食前・食後に 口にする『いただきます』、『ごちそうさま』といった 言葉があり、これらは食べ物やそれを育んだ自然の恵み や作ってくれた人への感謝が込められている。また、ユ ネスコ無形文化遺産に登録された『和食』も食材を余す ところなく使う持続可能性の高い食文化であり、家庭の 外で出された食事の残りを『折り』に詰めて持ち帰り、 家庭で味わう習慣もある。食品ロスを削減する取組は、 こうした我が国の食に関わる文化を再確認することにも つながる。」とされています。